

地域共生センター公開講義 「流域から地域・社会をリブートする」 を開催します

滋賀県立大学地域共生センターでは、公開講義として「〈流域〉から地域・社会を「リブート」するー千年先のいのちのためにー」を下記のとおり開催します。

基調講演の講師として、元環境事務次官で日本経済大学特命教授の中井徳太郎氏を招聘し、急激な少子高齢化等の中で、〈流域〉という視点から、琵琶湖と水源の山林を1,450万人の共有財として守り育てる社会づくりを実践者の事例報告を交えながら、議論します。

是非、取材のほどお願いします。

日時：令和8年(2026年)7月10日(金) 16:30~19:40

第1部：講演

第2部：事例報告

第3部：ディスカッション

場所：滋賀県立大学共通講義棟A3-301 講義室

(オンラインでも同時配信を実施します。)

費用：無料

登壇者：

基調講演 中井徳太郎 氏(日本経済大学特命教授・元環境事務次官)

事例報告 森林文化保全再生実践者 3名

ディスカッション 井手慎司(滋賀県立大学理事長/学長) および上記1、2部の登壇者
モデレーター 上田洋平(地域共生センター特任講師)

申込方法：右記のQRコードを読み込み、申込フォームから申込いただくか、
下記の連絡先までご連絡ください。

E-mail：kyousei@office.usp.ac.jp

電話：0749-28-9851



【お問い合わせ先】

滋賀県立大学 地域共生センター 特任講師 上田

TEL：0749-28-9851

E-Mail：kyousei@office.usp.ac.jp

〈流域〉から 地域・社会を「リブート」する — 千年先のいのちのために —

〈流域〉という視点から暮らしや文化、政治や経済をとらえ直そうという動きが広がっている。琵琶湖・淀川は、そのなかに1450万の人口を擁する屈指の〈流域〉である。一方で、その〈流域〉——とりわけその源である琵琶湖をとりまく山や森は、急激な少子高齢化等とあいまって、地元の人々だけでは「守り」きれなくなりつつある。そこで改めて、琵琶湖とその水源の山林を、1450万人の「森と水の関係人口」みんなの「コモンズ」として捉え直し、ともに守り^もして、ともにめぐみをわかちあう、〈流域〉目線の社会デザイン展開への道を考える。



登壇者：基調講演

中井徳太郎さん

日本経済大学特命教授・元環境事務次官
公益財団法人三千年の未来会議代表理事

事例報告 森林文化保全再生実践者のみなさん

モデレーター 上田洋平（地域共生センター特任講師）

【中井徳太郎・なかいとくたろう】1962年生。1985年東大法学部卒業後、大蔵省入省。在英国日本大使館一等書記官、富山県生活環境部長、財務省広報室長、東京大学医科学研究所教授、理財局計画官、財務省主計官等を経て、東日本大震災後の2011年7月環境省に。会計課長、秘書課長、廃棄物・リサイクル対策部長、総合環境政策統括官等を経て、2020年7月環境事務次官。地域循環共生圏構想、2050年カーボンニュートラル目標、カーボンプライシングの推進に深くコミットしてきた。2022年7月退官。2022年9月～2026年3月まで、日本製鉄顧問。2025年4月設立の公益財団法人三千年の未来会議の代表理事に就任。2026年4月日本経済大学特命教授。

と き：令和8年7月10日（金）16：30-19：40

第1部：講演

第2部：事例報告

第3部：ディスカッション

定員100名

OL配信あり

聴講無料

ところ：滋賀県立大学共通講義棟A 3-301 講義室
（滋賀県彦根市八坂町2500）

または オンライン視聴（視聴用URLはお申込後案内）

お申込：下記QRコードから申込フォームにアクセス頂くか、下記連絡先までお申込下さい。

滋賀県立大学地域共生センター

E-mail kyousei@office.usp.ac.jp

電話 0749（28）9851



←お申込は
こちらから

主 催：滋賀県立大学地域共生センター

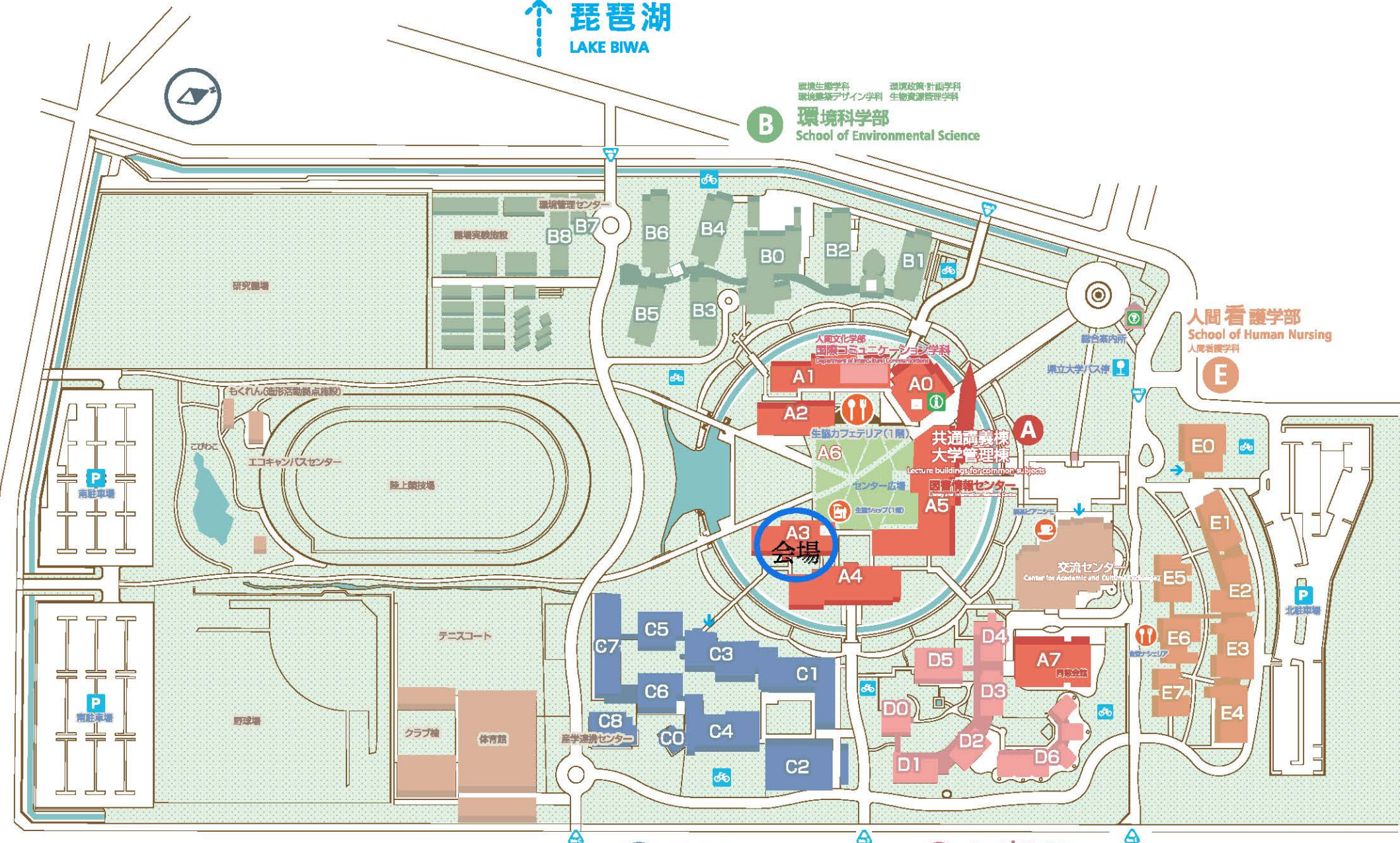
琵琶湖
LAKE BIWA

環境生物学科 環境政策・計画学科
環境建築デザイン学科 生物資源管理学科
B 環境科学部
School of Environmental Science

人間看護学部
School of Human Nursing
人間看護学科

C 工学部
School of Engineering
材料科学科 機械システム工学科
電子システム工学科

D 人間文化学部
School of Human Cultures
地域文化学科 生活デザイン学科 生活栄養学科 人間関係学科
国際コミュニケーション学科



0 20 40 100M